

2024年11月7日

## (臨床研究に関するお知らせ)

「スマートフォンアプリケーションを使用したアレルギー症状の動態調査」にご参加された患者さんへ

千葉大学医学部附属病院では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内する臨床研究は、千葉大学医学部倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに取得させていただいた情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

スマートフォンアプリケーションを使用したアレルギー症状の動態調査

### 2. 研究責任者

千葉大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学 助教 飯沼智久

### 3. 研究の目的

スマートフォンアプリケーションである「MASK-air」を使用してアレルギー症状を記録し、本邦や各国を含めたアレルギー症状や治療法の調査を行っております。本研究によりアレルギー性鼻炎やそれに付随するアレルギー症状の実状調査が大規模に行われれば、日本のアレルギー性鼻炎のガイドラインへの提言や、OTCの使用率などから何が患者から求められているのかなどのニーズが明らかとなり、より良い医療への還元が可能と思われれます。今回、集まった国内外の膨大なデータを人工知能の技術(AI)によって解析を行うことで、症状の予測モデルや症状のパターン分類などを行いたいと考えております。また、ガイドラインへの提言を見据えて、日本耳鼻咽喉科学会や日本アレルギー学会での花粉症対策の取り組みや、地域のアレルギー協議会などと連携していきたいと考えております。

### 4. 研究の概要

#### (1) 対象となる患者さん

2019年1月以降、本研究に参加された方

#### (2) 利用させて頂く情報

性別、年齢、国籍、言語、位置情報、入力した日付、アレルギー性鼻炎や気管支喘息の有無、使用薬剤の種類、喫煙の有無、日々のアレルギー症状日記(目、鼻、気道症状、それら症状の仕事への影響や睡眠への影響)、その他アプリを使用して入力した情報

### **(3) 方法**

アプリケーションを使用して入力された莫大な情報を AI によって解析し、アレルギー症状の予測プログラムの作成を目指したり、患者さんの症状パターンを深く分析することで症状の分析を行います。得られた結果を解析し、花粉症対策の取り組みにフィードバックしていきます。

### **(4) 研究期間**

2019年10月10日から2027年3月31日まで

### **(5) 参加医療機関（参加予定を含みます。）**

本研究は千葉大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学を中心に行われます。アプリケーションのポスターやチラシは全国の医療機関へ配布する場合があります。

## **5. 個人情報の取扱い**

解析に使用するデータでは、患者さんを特定できる個人情報は削除されています。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることもありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

## **6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合**

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

## **7. 問い合わせ先**

千葉市中央区亥鼻 1-8-1

千葉大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学 助教 飯沼智久

TEL：0432227171